

相談から支援までの流れ



① 相談

まずは、高齢介護課・市地域包括支援センターで、電話や面談によるご相談を受け付けます。



② 訪問

担当職員が、対象者の自宅等を訪問、生活の状況を把握し、チーム員による介入が適当な支援であるか判断します。



③ サポート

認知症初期集中支援チームによるサポート
(サポート期間は最長6ヶ月)

【例えば】

- かかりつけ医への相談や、必要に応じた専門医療機関への受診調整
- 認知症の症状に応じた対応や、日常生活に関するアドバイス
- 必要な医療や介護サービスの検討・調整



④ 引継ぎ

認知症初期集中支援チームのサポートの終了。その後は、支援が途切れないうち、主治医やケアマネジャーなどの関係機関へ引継ぎを行います。



認知症初期集中支援チームとは

保健・医療・福祉などの専門職が、ご本人やご家族、近隣の方やケアマネジャーなどからのご相談を受け、認知症が疑われる方や、認知症の方及びその家族を訪問し、必要な支援を行います。

1. 認知症かどうかの評価
2. 医療機関への受療支援
3. 家族介護者への支援
4. 身体的なケアや行動・心理症状の予防支援
5. 介護サービス利用を含む生活支援
6. 生活環境の改善やケアについてのアドバイス

支援対象者

江田島市在住で40歳以上、在宅で生活し、認知症が疑われる、または認知症である方で、以下の1, 2にあてあまる方。

1. 医療・介護サービスを受けていない、または中断している方
 - ① 認知症の診療診断を受けていない方
 - ② 継続的な医療サービスを受けていない方
 - ③ 適切な介護サービスに結びついていない方
 - ④ 介護サービスを中断している方
2. 医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理状況が顕著なため対応に苦慮している方

認知症早期発見のめやす

- チェックリストをやってみましょう。
思い当たることがあればご相談を。

①もの忘れ

- 今切ったばかりなのに、電話の相手を忘れる
- 同じことを何度も言う・問う・する
- しまい忘れ・置忘れが増え、いつも探している
- 財布・通帳・衣類などが盗まれたと人を疑う

②判断力・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが増えた
- 新しいことが覚えられない
- 話のつじつまが合わない
- テレビ番組の理解ができなくなった

③時間・場所がわからない

- 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うことがある

④人柄が変わる

- 些細なことで、怒りっぽくなった
- 周りへの気遣いがなくなり、頑固になった
- 自分の失敗を人のせいにする
- 「最近様子がおかしい」と周囲から言われた

⑤不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 外出時に持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

⑥意欲がなくなる

- 下着を替えず、身だしなみをかまわなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味なくなった
- ぶさぎ込んで何をするのも億劫がり嫌がる

認知症とは

認知症とは、単なる物忘れとは違い、誰もがなる可能性のある脳の病気です。現在高齢者の4人に1人は認知症又はその予備軍といわれています。

認知症にも早期治療で症状を和らげることができるものがあります。きちんと診断して適切な対応を行うことが大切です。

❀相談・お問い合わせ❀

「認知症かな？」と思ったら、まずは、下記の相談窓口までお気軽にご相談ください。

江田島市高齢介護課

江田島市大柿町大原505番地
(江田島市役所本庁2階)

☎0823-43-1651

江田島市地域包括支援センター

江田島市大柿町大原505番地
(江田島市役所本庁2階)

☎0823-43-1640

* 江田島市認知症初期集中支援チームは吉田病院内に設置しています。

認知症かな？

と思ったら

認知症初期集中支援チーム



江田島市